



## 2025年2月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年10月4日

上場会社名 株式会社薬王堂ホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 7679 URL <https://www.yakuodo-hd.co.jp/>  
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 西郷 辰弘  
 問合せ先責任者（役職名） 経営企画部長（氏名） 西郷 泰広（TEL）019-621-5027  
 半期報告書提出予定日 2024年10月11日 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有（ 機関投資家・アナリスト向け ）

（百万円未満切捨て）

## 1. 2025年2月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年3月1日～2024年8月31日）

## （1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期中間期	76,791	7.3	3,180	△2.7	3,329	△3.7	2,361	3.1
2024年2月期中間期	71,542	10.6	3,269	15.8	3,458	15.8	2,289	11.1

（注）包括利益 2025年2月期中間期 2,347百万円（ 1.5%） 2024年2月期中間期 2,312百万円（ 12.8%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年2月期中間期	120.52	—
2024年2月期中間期	116.86	—

## （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年2月期中間期	77,291	35,151	45.5
2024年2月期	70,784	33,314	47.1

（参考）自己資本 2025年2月期中間期 35,151百万円 2024年2月期 33,314百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年2月期	—	0.00	—	26.00	26.00
2025年2月期	—	0.00			
2025年2月期（予想）			—	27.00	27.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2025年2月期の連結業績予想（2024年3月1日～2025年2月28日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	152,200	7.0	5,700	9.4	6,000	6.7	4,000	4.6	204.13

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年2月期中間期	19,740,219株	2024年2月期	19,740,219株
② 期末自己株式数	2025年2月期中間期	145,229株	2024年2月期	145,229株
③ 期中平均株式数(中間期)	2025年2月期中間期	19,594,990株	2024年2月期中間期	19,594,990株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間連結貸借対照表 .....	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	5
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
3. その他 .....	9
(1) 仕入及び販売の状況 .....	9

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における我が国の経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果により、景気の回復基調がみられたものの、海外景気の下振れや物価上昇、金融資本市場の変動などによる個人消費や経済活動への影響が懸念されるなど、先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループが属するドラッグストア業界においては、継続的な物価上昇に伴う消費者の節約志向の強まりや異業種を含む競合他社の出店拡大など、経営環境は厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは、販売価格や品揃えの強化を図り、来店客数及び買上点数の増加に取り組むとともに、小商圈ドミナント出店を推進し、ドラッグストアを青森県1店舗、宮城県2店舗、福島県1店舗の合計4店舗を新規出店し、当中間連結会計期間末の店舗数は391店舗(うち調剤併設型3店舗、調剤専門薬局2店舗)となりました。さらに、青森県と岩手県、宮城県を中心に29店舗の改装を実施し、エリアドミナントと既存店の強化をいたしました。

以上の結果、当中間連結会計期間における売上高は767億9千1百万円(前年同期比7.3%増)、営業利益は31億8千万円(前年同期比2.7%減)、経常利益は33億2千9百万円(前年同期比3.7%減)、親会社株主に帰属する中間純利益は23億6千1百万円(前年同期比3.1%増)となりました。

なお、当社グループはドラッグストア事業を主要な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいためセグメント情報の記載を省略しております。主要なドラッグストア事業における部門別の業績は次のとおりです。

#### ① ヘルス

医薬品はドリンク剤等が伸張り、衛生用品では介護用紙おむつや生理用品等が伸張いたしました。その結果、売上高は前年同期比1.2%増加し、131億5千3百万円となりました。

#### ② ビューティ

化粧品は基礎化粧品や男性化粧品、ポイントメイク等が伸張り、トイレタリーではヘアケアやオーラルケア等が伸張いたしました。その結果、売上高は前年同期比6.8%増加し、103億3千1百万円となりました。

#### ③ ホーム

日用品は衣料洗剤や柔軟剤等が伸張り、衣料品では肌着等が伸張いたしました。バラエティ部門はペット関連商品や殺虫剤等が伸張いたしました。その結果、売上高は前年同期比9.4%増加し、164億8千5百万円となりました。

#### ④ フード

食品は日配品や冷凍食品等が伸張り、酒類ではビール類や酎ハイ等が伸張いたしました。その結果、売上高は前年同期比9.0%増加し、367億8百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ①資産、負債及び純資産の状況

#### (資産)

当中間連結会計期間末の資産合計は、772億9千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ65億7百万円の増加となりました。

流動資産は390億8千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ58億4千3百万円増加しました。主な増加要因は、現金及び預金が33億3千1百万円増加、商品が16億3百万円増加したことがあげられます。

固定資産は382億6百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億6千3百万円増加しました。主な増加要因は、新規出店や改装等により有形固定資産が6億7千4百万円増加したことがあげられます。

#### (負債)

当中間連結会計期間末の負債合計は、421億3千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ46億6千9百万円の増加となりました。

流動負債は288億9千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ43億5千5百万円増加しました。主な増加要因は、買掛金が35億9千7百万円増加したことがあげられます。

固定負債は132億4千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億1千3百万円増加しました。主な増加要因は、リース債務が4億2千万円増加したことがあげられます。

#### (純資産)

当中間連結会計期間末の純資産合計は、351億5千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ18億3千7百万円の増加となりました。主な増加要因は、利益剰余金が18億5千2百万円増加したことがあげられます。

### ②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ33億3千1百万円増加し、82億8千4百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローとそれらの主な要因は、次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は53億2千3百万円(前年同期は51億1千6百万円の収入)となりました。これは、税金等調整前中間純利益が33億2千9百万円となったことや、減価償却費が14億3千2百万円あったこと等によるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は15億2千8百万円(前年同期は7億6千1百万円の支出)となりました。これは、主に新規出店や改装等に伴う有形固定資産の取得による支出が14億8百万円あったこと等によるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は4億6千3百万円(前年同期は21億2千9百万円の支出)となりました。これは、長期借入金による収入が15億円ありましたが、長期借入金の返済による支出が12億8千1百万円あったことや、配当金の支払額が5億9百万円あったこと等によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当中間連結会計期間における業績は概ね計画通りに推移しており、現時点において2024年4月5日に公表しました業績予想数値に変更はありません。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当中間連結会計期間 (2024年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,952	8,284
売掛金	1,713	2,221
商品	24,506	26,110
その他	2,068	2,468
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	33,241	39,085
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	27,502	27,185
土地	619	619
その他(純額)	3,291	4,282
有形固定資産合計	31,412	32,087
無形固定資産	317	351
投資その他の資産	5,812	5,767
固定資産合計	37,542	38,206
資産合計	70,784	77,291
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	16,192	19,789
1年内返済予定の長期借入金	2,343	2,515
未払法人税等	981	1,112
契約負債	865	905
賞与引当金	627	716
店舗閉鎖損失引当金	35	31
その他	3,496	3,826
流動負債合計	24,541	28,897
固定負債		
長期借入金	8,635	8,681
資産除去債務	1,778	1,802
その他	2,515	2,759
固定負債合計	12,928	13,242
負債合計	37,470	42,139
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	2,311	2,311
利益剰余金	31,189	33,041
自己株式	△300	△300
株主資本合計	33,300	35,152
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13	△0
その他の包括利益累計額合計	13	△0
純資産合計	33,314	35,151
負債純資産合計	70,784	77,291

## (2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

## 中間連結損益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)
売上高	71,542	76,791
売上原価	56,106	60,416
売上総利益	15,436	16,374
販売費及び一般管理費	12,166	13,193
営業利益	3,269	3,180
営業外収益		
受取利息	8	8
受取事務手数料	92	96
固定資産受贈益	15	17
受取保険金	27	0
その他	68	63
営業外収益合計	212	186
営業外費用		
支払利息	22	33
その他	1	3
営業外費用合計	24	36
経常利益	3,458	3,329
特別損失		
投資有価証券評価損	100	-
特別損失合計	100	-
税金等調整前中間純利益	3,358	3,329
法人税、住民税及び事業税	1,116	990
法人税等調整額	△47	△21
法人税等合計	1,068	968
中間純利益	2,289	2,361
非支配株主に帰属する中間純利益	-	-
親会社株主に帰属する中間純利益	2,289	2,361

## 中間連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)
中間純利益	2,289	2,361
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	22	△14
その他の包括利益合計	22	△14
中間包括利益	2,312	2,347
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	2,312	2,347
非支配株主に係る中間包括利益	-	-

## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	3,358	3,329
減価償却費	1,380	1,432
賞与引当金の増減額(△は減少)	116	88
契約負債の増減額(△は減少)	47	39
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	△4	△4
受取利息及び受取配当金	△8	△8
支払利息	22	33
投資有価証券評価損益(△は益)	100	-
売上債権の増減額(△は増加)	△492	△508
棚卸資産の増減額(△は増加)	△1,354	△1,632
仕入債務の増減額(△は減少)	3,255	3,597
その他	△281	△149
小計	6,138	6,219
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△22	△34
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△1,000	△862
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,116	5,323
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△704	△1,408
無形固定資産の取得による支出	△22	△48
敷金及び保証金の差入による支出	△35	△57
その他	1	△13
投資活動によるキャッシュ・フロー	△761	△1,528
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	-	1,500
長期借入金の返済による支出	△1,526	△1,281
リース債務の返済による支出	△113	△172
配当金の支払額	△489	△509
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,129	△463
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,225	3,331
現金及び現金同等物の期首残高	5,280	4,952
現金及び現金同等物の中間期末残高	7,506	8,284

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

## 3. その他

## (1) 仕入及び販売の状況

当社グループは、ドラッグストア事業を主要な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいことから、ドラッグストア事業における部門別及び地域別の仕入及び販売の状況を記載しております。

## ① 仕入実績

当中間連結会計期間における部門別仕入実績を示すと、次のとおりであります。

部門別	前中間連結会計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)		当中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)		前年同期比 (%)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
ヘルス	8,795	15.3	9,273	15.0	+5.4
ビューティ	7,477	13.0	7,448	12.0	△0.4
ホーム	12,538	21.8	13,603	22.0	+8.5
フード	28,714	49.9	31,582	51.0	+10.0
合計	57,525	100.0	61,907	100.0	+7.6

## ② 販売実績

## イ. 部門別販売実績

当中間連結会計期間における部門別販売実績を示すと、次のとおりであります。

部門別	前中間連結会計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)		当中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)		前年同期比 (%)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
ヘルス	13,000	18.2	13,153	17.1	+1.2
ビューティ	9,670	13.5	10,331	13.5	+6.8
ホーム	15,069	21.1	16,485	21.5	+9.4
フード	33,685	47.2	36,708	47.9	+9.0
合計	71,425	100.0	76,678	100.0	+7.4

## ロ. 地域別販売実績

当中間連結会計期間における地域別販売実績を示すと、次のとおりであります。

地域別	前中間連結会計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)		当中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)		前年同期比 (%)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
青森県	10,187	14.2	10,901	14.2	+7.0
秋田県	10,783	15.1	11,693	15.2	+8.4
岩手県	21,990	30.8	23,205	30.3	+5.5
宮城県	17,336	24.3	18,575	24.2	+7.2
山形県	7,058	9.9	7,407	9.7	+4.9
福島県	4,069	5.7	4,893	6.4	+20.2
合計	71,425	100.0	76,678	100.0	+7.4